



輝き



～「Open Share そしてTeamで」～

令和4年11月30日 三木市立三木特別支援学校

「できない」ことは叱らない

～「叱る」「褒める」「伝える」……わかってもらうってむずかしい～

深秋から錦秋、そして冬へと季節が移ろうとしています。
自然の中の実りと競うように成長している子どもたち。

「前はできてたのに……。」

「やらないだけちがう!!」(気持ちのものだい!)

「なんでしないの!!」(はよしてくれないと困る)

「そんなことより早く!」(時間ないねん。みんなまってる。)

子どもたちの言動に対して、このように思うことは、あるのではないのでしょうか?

11月、中学部の子どもたちがトライやる・ウィークや職場体験をさせていただく様子を見る機会の中で感じたことの1つが、

「『できない』ことは叱らない」

です。自分たちが期待している姿とズレたときには、ちょっと時間をあけてみる、人が変わってみる、方法を変えてみる、扱う素材、材料を置く位置や作業場所を変えてみる……そんな中で、各々のできる方法や気持ちを切り替える言葉、タイミングが見えてきます。このような小さな「できた」「もっとやりたい」という積み重ねを感じられる場所は、大人も子どもも居心地がいいものです。

「『やらない』との見分け方、判断が難しいですね。」という声もありますが……。

子どもたちも困っているのかもしれませんが。「わかってもらうって難しい」と感じているのかもしれませんが。「できない」時には、声をかける側もかけられる側も深呼吸。「なぜ、できないのかなあ」を考え、個々の「できる」を見つけるチャンス。それでも駄目なら「また今度」「次は何しようかな」と割り切ることも大切です。そして私たちの言動は、常に子どもたちに「見られている」と想像できると気分も変わるかもしれませんね。



「あつまれ 笑顔 ころにとどけ ハッピースマイル」

をテーマに、12月10日(土)、第48回学習発表会を開催します。小中学部ともに、この8か月の学習、子どもたちの成長を盛り込みました。国算(数)A同Bで取り組んでいる個別課題、図工美術での造形物や背景、衣装、音楽や総合、作業学習……。全てをお見せすることは困難ですが、その一端をご覧いただき、そこから、これまでの取組や成長を想像いただければ、ありがたく存じます。今年度も残念ながら保護者対象の開催となりますが「わっじょい」も復活します。笑顔集まる会場に笑顔を添えていただき、ハッピースマイルを受け止めていただければ幸いです。(校長 佐野 順子)

みえる

とんぼ すぐる



あっちで すすきが てをふった
こっちで いなごが とびはねた
そっちで おちばが ひらひらり
むこうで いけが ひかっている

まわり ぐるり まんまるく
ぼくは みんなが よくみえる
まわり ぐるり まんまるく
みんなも ぼくを みているね

工藤直子
詩集「のはらうたより」

